

「部落の心を伝えたい」ビデオシリーズ⑧

ぬくもりを感じて

—— 刺激的 ナイスガイ 中倉茂樹 ——



●お申し込み・お問い合わせは



(映)

有限
会社

博映商事

【飲酒運転撲滅宣言企業】

TEL 092-741-0306

FAX 092-741-6628

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220

【HP】 <http://hakuei-shoji.jp>

【E-Mail】 info@hakuei-shoji.jp



第8巻

「部落の心を伝えたい」ビデオシリーズ⑧ ぬくもりを感じて — 刺激的ナイスガイ 中倉茂樹 —

「いじめ」にあいつづけた小学校時代

中倉茂樹さん(29歳)、山と川に抱かれた徳島県吉野川市に生まれた。現在、警備会社で働きながら、年間70回に及ぶ講演活動を続けている。

「部落差別をなくすことに、人生を賭けたい」と力強く語る“刺激的ナイスガイ”(市の人権啓発課長の命名とか)の中倉さんだが、実は小学校の6年間、今では信じられないようないじめにあっていたという。

校内だけでなく、通学路でもケガするくらいはいじめにあったこと。しかし、親や家族には悲しませたくないという思いから告げられなかったこと。講演では、体験を通した自らの心情を具体的に語り「人権学習、同和教育はいじめをなくすだけでなく、皆が幸せになるための勉強だよ」と若い感性に訴えかけた。

部落民宣言で知った人の「ぬくもり」

中倉さんに大きな転機が訪れたのは、高校3年生のとき。同和問題に携っていた恩師・井村先生との出会いがあり、周囲に支えられて人権集会で部落民宣言を行った。集会が終わった後、放心状態の中倉さん。そこへ皆がかけつけ「感動した」「なぜもっと早く言ってくれなかったのか」「これからも変らへんよ」と口々に励ましてくれた。

このとき、生まれてはじめて「人間って暖かいなあ」としみじみ思い、自分を支えてくれる人たちや仲間感謝した。その気持ちは今も変わらないと述懐する。

結婚差別と闘う「今」

中倉さんには、結婚を約束した女性がいる。しかし、彼女の両親や兄姉は部落出身であることを理由に反対している。中倉さんは彼女を育ててくれた大事な両親に自分を知って欲しいという思いは強いが、会う道は完全に閉ざされてきた。2人の悩みは深く重い。現在進行形の「結婚差別」をカメラは追う。

二人の固い決意を支える仲間がいる。「徳島県西



2006年11月完成/30分作品
ライブラリー価格52,500円(税込)

部青年の会“友輝”」のメンバーたちである。宏美さんは、揺れる心を励まされ、勇気づけられてきた。中倉さんは彼らを自分の誇りであり、宝だという。

松山市・北条町での講演。親しい人も大勢参加した会場で結婚することを報告。自分の置かれた状況を包み隠さず、率直に語った。そして7月12日、2人は婚姻届を提出。「幸せになります」「今からがスタートです」と喜びの中にも固い決意が伝ってくる。

恩師への結婚報告。井村さんは「中倉君の性格は、一本気で妥協せんねえ。信念もとるけんねえ。ああい子が次代を担っていつてくれたら、有難いと思う。宏美ちゃん、いい感じやねえ、あの子なら中倉君を十分支えていけるだろうと思います。喜んでおります」と2人を祝福した。

結婚して2カ月。この日の講演会場は、奇しくも妻となった宏美さんのふるさと。中倉さんは、部落差別の実態を切々と訴えた。そして「僕の例は特別なものではなく、大阪でも京都でも、その他の地域にもいっぱいあります。僕は、彼女のふるさとから差別をなくしたいのです。この町の仲間、青年たちを信じています」と一段と力を込めて結んだ。

地元での結婚祝賀会。心から祝福してくれる大勢の仲間を支えられながら、2人は結婚差別という嵐の中を共に歩き続ける覚悟を新たにする。

製作池嶋道明 監督田中幸夫 撮影飯田政和 編集北川のん 整音吉田一郎 解説藤田千代美

「部落の心を伝えたい」第1巻～第10巻シナリオ集「10人の語り部たち」刊行

本ビデオシリーズは、9年間を経て、このたびの新作3作品を加え10巻に達しました。その節目にあたり、シナリオ集「10人の語り部たち」を企画・刊行します。人権講演会や研修、集いなどの企画の参考資料として、またビデオを使った研修の事前・事後の学習用、聴覚障害者向けの「字幕版」を補完する資料としてもご利用いただけます。

映像を観る⇄活字で味わう、という双方向で、よりスムーズな作品のご利用が可能となります。ぜひお手元にお備えください。



価格 1,050円(税込)